

特集

洞爺湖町の

平成

を振り返る

1989
平成元年

平成元年

○3月 月浦小学校閉校

●8月 成香開拓100年、成香

小開校90周年記念式典開催①

平成2年

●8月 香川開拓100年、香川

小開校90周年記念式典開催②

平成3年

○6月 グリーンスティ洞爺湖オー

トキャンプ場オープン③

平成4年

○1月 みずうみ読書の家新築オー

ブン

○3月 入江馬頭観世音碑が北海道

有形文化財に指定④

●10月 洞爺小開校100周年記

念式典開催

平成5年

●10月 第1回洞爺村国際彫刻ビエ

ンナーレ開催

平成6年

○3月 道央自動車道蛇田洞爺湖イ

ンター開通

●8月 大原小学校新校舎落成式

平成7年

●5月 とうやクリーナップセン

ター通水式

平成8年

○4月 消防総合庁舎（泉区）落成

●7月 ふれ愛センターオープン



④



③



②



①

2004
平成16年

平成16年

●6月 とうや水の駅完成披露式

○●6月 豊浦町・蛇田町・洞爺村

合併（法定）協議会設立

平成17年

○●3月 蛇田町と洞爺村の合併協

定調印式⑨

平成18年

●3月 洞爺湖町誕生

●4月 とうや小学校開校（洞爺・

大原・香川・成香各小学校を統合）

●6月 洞爺湖町開町式

平成19年

●3月 新洞爺総合支所オープン

●3月 国道230号新ルート供

用開始

●4月 花和小学校を洞爺湖温泉小

学校に統合

●7月 三豊市と友好都市提携

平成20年

●4月 洞爺湖芸術館オープン

●7月 北海道洞爺湖サミット開催⑩

●12月 洞爺湖有珠山ジオパーク、

日本ジオパークに認定

平成21年

●8月 洞爺湖有珠山ジオパーク、

世界ジオパークに認定⑪

平成22年

●7月 洞爺湖温泉誕生100年

感謝祭開催⑫



⑫



⑩



⑨



⑧

5月1日から、1989年より30年続いた平成が新しい元号に変わります。平成の時代とはどんな時代だったのでしょうか。あらためて有珠山の噴火、洞爺湖町の誕生、洞爺湖サミットなど、洞爺湖町の平成のあゆみを年表で振り返ってみます。

※○は虻田町、●は洞爺村、■は洞爺湖町の出来事です。



2003
平成 15 年

1999
平成 11 年

1998
平成 10 年

- 平成 15 年
 - 7月 天皇・皇后両陛下災害復興をご視察⑧
 - 6月 虻田町合同庁舎完成記念式開催
 - 4月 有珠山火山活動災害対策本部廃止
- 平成 14 年
 - 11月 災害公営住宅への入居始まる
- 平成 13 年
 - 12月 いきが交流センターオープン
- 平成 12 年
 - 3月 有珠山噴火。町民の約97%避難⑥
 - 8月 農業研修センターのオープン記念式典開催⑦
- 平成 11 年
 - 5月 健康福祉センターさわやかオープン
 - 7月 集中豪雨災害。被害総額約3億2000万円
- 平成 10 年
 - 9月 洞爺ふれあいパークオープン
 - 10月 洞爺村開村110周年記念式典開催⑤
- 平成 9 年
 - 8月 洞爺中学校開校50周年記念式典開催



2018
平成 30 年

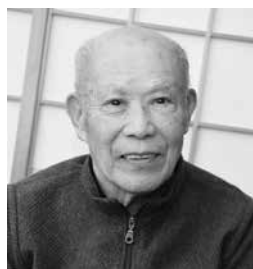
2014
平成 26 年

2013
平成 25 年

- 平成 30 年
 - 3月 地域食堂ほのぼのオープン
- 平成 29 年
 - 4月 月浦運動公園ポロモイスタジアムオープン
 - 11月 虻田漁港大磯地区完成に伴う臨時道路開通セレモニー
- 平成 28 年
 - 2月 洞爺湖温泉中学校閉校記念式典開催
 - 3月 洞爺湖町合併10周年記念式典開催⑮
 - 7月 洞爺湖温泉開湯1000年感謝祭開催⑮
- 平成 27 年
 - 11月 洞爺高校閉校記念式典開催⑭
- 平成 26 年
 - 8月 箱根町との姉妹都市提携50周年記念式典開催
- 平成 25 年
 - 10月 津波ハザードマップに基づいた初の住民避難訓練実施⑬
 - 4月 三豊市、6月、箱根町と災害時等の相互応援協定締結
- 平成 24 年
 - 3月 東日本震災発生。ホタテの稚貝などの漁業被害
 - 10月 有珠山火山噴火総合防災訓練



洞爺湖町の 誕生を振り返る



元虻田町長
長崎良夫さん

どの市町村も財政状況はとも厳しい時期でした。そのような財政状況の緩和を目的に合併の話を進めていきました。

合併成立に向けて、虻田町の人は、賛成者が多数いました。だが、洞爺村の人は、反対される人も多く、理解を得るのがとても大変でした。

合併したときは、財政もうまくやっていけるのではないかとこの希望も見えました。今後人口が減っていくことになると思いますが、観光産業を中心に、農業・漁業を結び付けて盛り上げてほしいです。

観光産業を中心として、農業・漁業を結び付けて盛り上げてほしい

模市町村単独では、財政状況

の首長に、町や村の住民の様子や洞爺湖町の将来への希望について、話を聞きました。

た。

そのような背景から、小規模市町村単独では、財政状況

の回復が難しいと判断し、合併して一体となることで、質の高い行政サービスの提供を図ろうとしました。

当時、地方分権の動きが強まり、地方交付税制度の変革などから、財政状況が厳しくなることが予想され、安定した行政サービスの運営が困難になることが見込まれました。

洞爺湖町の将来像に「湖海（うみ）と火山と緑の大地が結びあい元氣をつくる交流のまち」を掲げ、今年度で誕生14年目となります。

合併の歴史

年	月	日	出来事
平成 16 年 (2004 年)	7	20	豊浦町・虻田町・洞爺村合併（法定）協議会設立
平成 17 年 (2005 年)	3	10	住民投票の結果、豊浦町が離脱 虻田町・洞爺村合併協議会へと組織変更
		17	虻田町・洞爺村合併協定調印式開催
平成 18 年 (2006 年)	3	27	虻田町と洞爺村が合併し、洞爺湖町が誕生



元洞爺村長
菊地 勉さん

国の財政改革や交付金の減額、急速に進む人口の減少から、絶対に合併しなければならぬと思いました。住民の理解を得るために、30〜40回くらい住民懇談会を

人とのつながりが希薄になっているので、人間関係の充実と、この地域に誇りを持てるようなまちづくりを進めてほしいと思います。

行い、結果70%以上の賛成を得ることが出来ました。合併が成立したときは、この地域が存続できたことの安堵の気持ちと同時に、先達の思いを考えると、断腸の思いでした。

地域の人たちとのつながりを強くし、この地域に誇りを持てるまちづくりを

平成の自然災害を 振り返る

平成12年3月

有珠山噴火

有 珠山が23年ぶりに、西側山麓から噴火しました。噴煙の高さは3200メートルまで到達。

1977年の噴火と違い、虻田町では全町避難となり、役場まで移動しなければならぬほど大きなものとなりました。

行政、住民、専門家のしっかりとしたチームワークで、犠牲者を出すことなくすみましたが、道路や住宅などの被害は広範囲に及び、灰色の世界を眺めて呆然とするばかりでした。



23年ぶりに噴火した有珠山

平成23年3月

東日本大震災

宮

城県沖を震源とするマグニチュード9の地震が発生。日本周辺での観測史上最大の地震となりました。この地震により発生した津波で、多くの人が亡くなりました。町も壊滅状態になり、原発事故が引き起こされました。

洞爺湖町でも、特にホタテ養殖用の「桁」と呼ばれる太いロープが被害に遭いました。

一方、災害経験の町として、東北各県に災害見舞金を贈り、被災地支援として職員4人を派遣しました。



被害を受けたホタテの稚貝をカゴから取り出す組合員たち

平成28年8月

台風被害

北

海道では、8月に入って台風7号、同11号、同9号と短期間に連続して上陸しました。北海道では、1年に3回上陸したのは観測史上初めてのことでした。

洞爺湖町では、台風10号の影響で、町内各地で停電が発生。農業、漁業や一般家屋の被害も続出しました。

農業では、豆類やながいもなどが被害に遭い、ハウスのなどの施設にも大きな被害が及びました。

漁業でも、ホタテ養殖の施設や成員に被害がでました。



岸壁を越えて押し寄せる波

平成30年9月

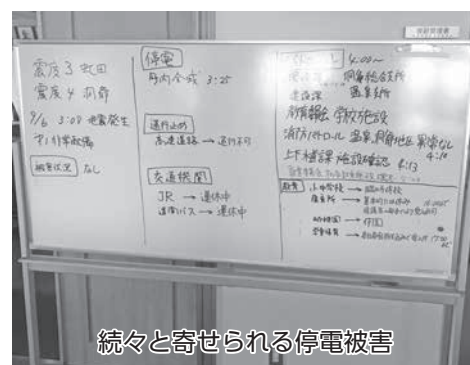
北海道胆振東部地震

胆

振東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生しました。洞爺湖町では虻田地区で震度3、洞爺地区で震度4を観測。

この地震に伴い、6日、3時25分、北海道で、日本初となるエリア全域に及ぶ大規模停電（ブラックアウト）が発生しました。

町内でも、3時20分頃に町内全域で停電が発生。信号機が機能停止となった、踏切の遮断機が降りた状態で動かなくなるなど、交通に支障をきたしました。



続々と寄せられる停電被害